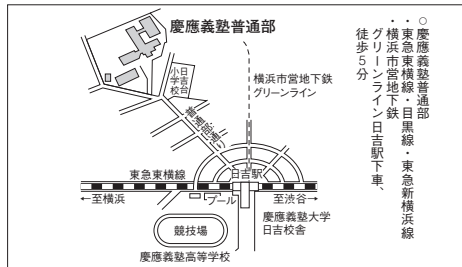


# 慶應義塾普通部

〒223-0062 神奈川県横浜市港北区日吉本町1-45-1 TEL045-562-1181 普通部長 森上 和哲



〈URL〉<https://www.kf.keio.ac.jp/>

**沿革** 福澤諭吉の名とともに輝かしい伝統を誇る慶應義塾は、安政5年（1858）、福澤が江戸築地の鉄砲洲に蘭学塾を開き、慶応4年（1868）に、芝新銭座に塾を移して慶應義塾と呼んだのがはじまりです。その後明治31年（1898）に幼稚舎（小学校）から大学までの一貫教育の体制が整えられました。普通部は三田より昭和26年（1951）に現在地に移転、現在に至ります。

## 校風・教育方針

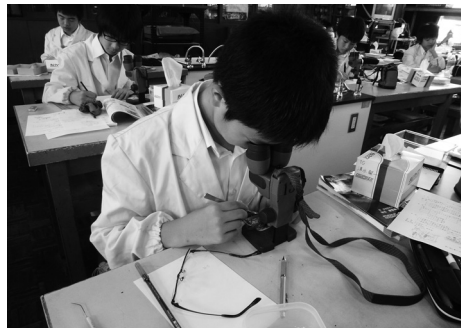
福澤諭吉の建学の志を脈々と受け継ぐ普通部は、優れた知性を積み重ね、品性をもった人間関係を広めて、かつ個人の独自性を基に行動のできる人格の育成を目指しています。

大学までの一貫教育のため、必要以上の暗記学習や競争意識から距離を置いています。日々の学習レベルは高く、課題も多いため、楽なわけではありません。普通部独自の行事も多く、人間関係を広げ、また刺激を受ける機会となっています。

校風としては全体にのびやかで、多くの生徒が生き生きとしています。自律に裏打ちされたのびやかさと言えます。このような場で学んだ多くの卒業生が、全社会的な先導者として様々な分野の第一線で活躍しています。

## カリキュラムの特色

土曜日にも授業があり、1週間の授業数は公立中学よりはるかに多い34時間です。卒業生のほとんど全員が慶應義塾大学に進学しますので、将来に渡る活躍を見すえて、基礎学力の育成を重視す



るとともに、より広い教養を身につけ、より深い思考力を伸ばすカリキュラムや授業内容となっています。国社数理英の5科目はどの学年でもすべてⅠとⅡに分かれ、別の教員が教えます。英語や数学などは小テストを頻繁に行いますが、一方で実験や作業、調査・発表、議論などを取り入れる教科が多いのも特色です。理科では2時間続きの実験がほぼ毎週あります。

3学期制で、各学期末に期末試験が行われます。成績はその結果だけで付けるのではなく、普段の授業で随時行われたテスト、レポートや作文、調査・発表なども総合して付けられます。

1年生は24人学級10クラス、2・3年生は40人学級6クラスですが、2・3年でも英語や理科実験などクラスを分割しての授業となっています。

## 環境・施設設備

東急東横線・目黒線・新横浜線、また横浜市営地下鉄グリーンラインの日吉駅から徒歩5分の緑多い閑静な住宅地の一角に位置しています。

2015年2月に2・3年生の教室が入る本校舎（教室棟）が竣工しました。普通教室の広さは旧校舎の1.3倍の90㎡、そこに幅70cmの机を配置、ゆったりと学習できる環境となっています。分割授業などで使用する12教室も含め、ほとんどの教室に電子黒板システムとWi-Fi環境が整備され、多彩な授業形態に対応しています。

2001年に竣工した本館には、事務室、教員室、図書室、250人収容のホールなどのほか、1年の

24人学級に対応した普通教室があります。

この他に音楽、美術、技術などの教室が入る4階建ての特別教室棟、講堂兼用の体育館、柔道・剣道などで使う小体育館、また弓道場も整備されています。校舎に隣接してグラウンドがありますが、徒歩数分のところに第2グラウンドがあり、テニス部、野球部、ラグビー部などが使用しています。水泳の授業や水泳部の活動は大学日吉キャンパス内の室内プールを使用しています。

## 生活指導・心の教育

学級担任は教科以外にも「教養」という時間を受け持ち、様々な課題や問題について取り上げたり、福澤諭吉の教えを紐解いたりしています。個人的な悩みについては、担任のほかスクール・カウンセラーが週2回来校し、相談に乗っています。

## 学校行事・クラブ活動

普通部を特色づける行事として9月下旬に行われる「労作展」と11月上旬に行われる「目路はるか教室」を挙げるすることができます。

労作展は、1927年に始まる伝統行事で、生徒自身が設定したテーマに基づき、ひと夏（あるいは1年）を費やし取り組んだ成果を披露する場です。毎年多くの見学者が訪れます。

## データファイル

■2026年度入試日程 \*出願は郵送・Web

募集人員	出願期間	試験日	発表日	手続締切日
約180	1/5～1/12	2/1	2/2	2/3

■2026年度選考方法・入試科目

国語、算数、理科、社会、面接、体育実技

〈配点・時間〉国・算＝各100点40分 理・社＝各100点30分

〈面接〉生徒個人

■2025年春併設大学への進学

普通部卒業後、学力・人物・身体等の各方面から適当と認められた者は普通部長の推薦を受け、無試験で慶應義塾高等学校、慶應義塾志木高等学校、慶應義塾湘南藤沢高等部（若干名）、またはニューヨーク学院のいずれかへ進学することができます。

また原則として、塾内の高等学校を卒業すると、慶應義塾大学の各学部へ進学することができます。

慶應義塾高等学校 卒業生数735人

慶應義塾大学726（文27、経済210、法224、商95、医22、理工109、総合政策19、環境情報19、看護

目路はるか教室は、様々な分野の第一線で活躍している卒業生を講師に招いて行う特別授業です。各コース20人程度で、主として学校外で開講されます。単なる職業体験ではなく、先輩の人生経験などもたっぷり語ってもらっています。

また、フィンランド・トゥルク市の中学校やオーストラリアのパース市郊外の中・高校と、生徒が相互に訪問する国際交流も行っていて、成果を上げています。

この他に、遠足、校内大会（クラス対抗のスポーツ大会）、大学野球早慶戦応援（1年は全員）、林間学校・自然学校、運動会、書初め大会（1年）、音楽会などがあります。また希望参加の行事として、海浜学校、キャンプ教室、多摩川40キロハイク、蔵王スキー学校（2年）などが開かれます。

普通部ではクラブ活動を部会といっていますが、運動部会は20、文化部会は15あります。

運動部会では、少数の者が特に選ばれて訓練を積むのではなく、より多くの生徒が参加する方針で進めています。文化部会は少人数のところが多いのですが、趣味を同じくする者がよくまとまり、活発に活動しています。部会活動が生活の中心にならないよう、月～土曜日で、3日までの活動となっています。

医療0、薬1）

慶應義塾志木高等学校 卒業生数228人

慶應義塾大学227（文4、経済80、法74、商18、医7、理工41、総合政策2、環境情報1、看護医療0、薬0）

慶應義塾湘南藤沢高等部 卒業生数242人

慶應義塾大学236（文7、経済70、法64、商23、医7、理工31、総合政策7、環境情報15、看護医療3、薬9）

■2025年度入試結果

募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	競争率
約180	675	630	189	3.3

〔学校説明会〕 詳細は学校HPをご覧ください  
4～6年生 9/13・9/14(Web予約制)

申し込み者に説明会内容の動画配信予定あり

〔見学できる行事〕

労作展 9/27・9/28(入試相談コーナーあり)

説明会・行事等は日程・内容が変更される場合があります。必ず学校HP等でご確認ください